

広域的地域活性化計画の中間評価報告シート(1)

都道府県名： 富山県

計画の名称：石川～富山における広域交流活性化計画

1) 事業の実施状況

| 計画の整備方針 | 事業区分 | 事業名 | 事業実施状況 | 事業未実施の理由 |
|------------------------------|------|-----------------------|--------|-------------|
| ①拠点施設へのアクセス時間を短縮させ、周遊効率性を高める | 基幹事業 | 道路事業(国)415号 谷屋大野バイパス | ○ | |
| | | 道路事業(一)四方新中茶屋線 北代 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(主)小杉婦中線 平岡～婦中町新町 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(一)姫野能町線 中曾根～作道 | ○ | |
| | | 道路事業(主)新湊庄川線 島 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(主)富山高岡線 中川 | ○ | |
| | | 道路事業(一)堀岡新明神能町線 庄西町 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(一)立野鶴島線 六家 | ○ | |
| | | 道路事業(主)小矢部伏木港線 守山 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(主)富山立山公園線 芦峯寺 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(主)富山上市線 水橋開発 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(一)堀江魚津線 上野 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(一)黒谷上村木線 東山 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(一)沓掛魚津線 三日市 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(主)魚津生地入善線 立野～生地 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(主)滑川上市線 下梅沢 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(主)入善朝日線 元屋敷 | △ | |
| | | 道路事業(一)平阿尾線 戸津宮 | ○ | |
| | | 道路事業(主)万尾脇方線 中谷内 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(一)鹿西氷見線 間島 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(主)高岡氷見線 新保～谷屋 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(主)砺波福光線 吉江中 | ○ | |
| | | 道路事業(主)利賀河合線 利賀村阿別当 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(主)金沢井波線 田屋 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(主)坪野小矢部線 上和田 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(主)福光福岡線 安居 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(主)小矢部津幡線 横谷 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(主)小杉婦中線 戸破～黒河 | ○ | |
| | | 道路事業(国)304号 高宮バイパス | ○ | |
| | | 道路事業(国)471号 菅沼折折バイパス | ○ | |
| | | 道路事業(国)472号 折折拡幅 | ○ | |
| | | 道路事業(国)415号 富山東バイパス | - | 他事業で実施したため。 |
| 道路事業(国)471号 利賀バイパス | ○ | | | |

| | | | | |
|------------------------------------|------|----------------------|---|---|
| | | 道路事業(国) 415号 雨晴拡幅 | ○ | |
| | | 道路事業(主) 富山上市線 向新庄 | ○ | |
| | | 道路事業(主) 宇奈月大沢野線 青柳 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(主) 入善朝日線 赤川橋 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(主) 入善宇奈月線 新屋 | △ | |
| | | 道路事業(主) 黒部朝日公園線 野中 | ○ | |
| | | 道路事業(主) 立山山田線 牧田～青柳新 | ○ | |
| | | 道路事業(主) 富山八尾線 婦中町広田 | △ | |
| | | 道路事業(一) 北高木立野線 立野 | △ | |
| | | 道路事業(主) 上市北馬場線 極楽寺 | △ | |
| | | 道路事業(主) 金山谷田方町線 湯上 | - | 他事業で実施したため。 |
| | | 道路事業(主) 入善朝日線 藤原～古黒部 | - | 他事業で実施したため。 |
| ②拠点施設へのアクセス時の快適性を高める | 提案事業 | 観光拠点への案内標識設置 | - | 当整備計画では、広報活動の効率化を図るため、観光拠点への案内標識設置事業を効果促進事業に位置づけたが、今回計画期間内においては、基幹事業の供用や整備促進を図るため、効果促進事業は実施しなかった。 |
| ③基幹事業と一体となってその効果を一層高める広報活動、調査を展開する | 提案事業 | 石川、富山広域観光PR事業 | - | 当整備計画では、広報活動の効率化を図るため、広域観光PR事業を効果促進事業に位置づけたが、今回計画期間内においては、基幹事業の供用や整備促進を図るため、効果促進事業は実施しなかった。 |

○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込み -：事業を中止

2) 目標の達成状況

| 計画目標 | 事業効果の確認方法 | 指標名 | 従前値 | 目標値 | 評価値 |
|---|-------------|--|-----------------------------|------------------------|----------------|
| <p>温泉や優れた自然景観、歴史・文化施設など、数多くの観光拠点施設を有する石川県と富山県が密接に連携し、平成26年度に金沢まで開業予定の北陸新幹線や北陸自動車道等の交通結節点と観光拠点施設間、または拠点施設を相互に連絡する広域的な周遊ルートを整備することにより、交流人口増大させ、地域振興を図る。</p> <p>また、両県が連携して、より広域的なPRを実施することで、広報活動の効率化を図る。</p> | 計画で定めた目標指標 | ①観光客入込み数 | 3,846万人 (H21年) | 4,136万人 (H24年) (7%の増加) | 3,774万人 (H24年) |
| | 目標指標以外の成果指標 | 観光客全体のうち、富山県へ来る前にいた都道府県の中で、石川県が占める割合の増加 | H22年 : 19.5% (H21年データなし) | — | H24年 : 32.7% |
| | その他の定性的な成果 | <p>道路整備により、下のように成果が発現し、観光集客に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (主) 砺波福光線 (吉江中) の道路整備により、未改良区間が解消され、砺波チューリップ公園からイオックス・アローザスキー場へのアクセス性が向上した。 ・ (主) 小杉婦中線 (戸破～黒河) の道路整備により、JR北陸本線 (当時) を跨ぐ跨線橋が完成し、海王丸パークから越中おわら風の盆 (八尾) へ向かう際の所要時間が短縮した。 ・ (国) 472号析折拡幅の道路整備により、道路の線形不良が解消され、越中おわら風の盆 (八尾) から利賀地域や五箇山への安全性・快適性が向上した。 ・ (主) 富山上市線 (向新庄) の道路整備により、未改良区間が解消され、富岩運河環水公園から立山黒部アルペンルートへのアクセス性が向上した。 ・ (一) 姫野能町線 (中曽根～作道) の整備により、ひみ番屋街、海王丸パーク等へのアクセス性が向上した。 | | | |

広域的地域活性化計画の事後評価報告シート（2）

3) 目標達成・未達成への事業の効果の影響分析

| 事業効果の確認方法 | 計画で定めた目標指標 | 目標指標以外の成果指標 | その他定性的な成果 |
|-------------------------|---|---|---|
| | | ①観光客入込み数 | 観光客全体のうち、富山県へ来る前にいた都道府県の中で、石川県が占める割合の増加 |
| 事業効果の発現状況 | ・拠点施設へのアクセスルートの整備を実施することで、アクセス時間を短縮させ、周遊効率性を高めたり、アクセス時の快適性を高めることができました。 | ・石川県が占める割合が徐々に増加。 平成22年度：19.5% 平成23年度：31.5% 平成24年度：32.7% | ・道路整備により、観光ルートにおけるアクセス性、安全性、快適性が向上したり、所要時間が短縮する等した。 |
| 外部要因の影響 | ・平成22年は、大型のイベントの終了・縮小、前年の秋の大型連休の反動等により、入込総数は前年に比べ4.7%減少。 ・平成23年は、3月の東日本大震災の発生後、イベントの中止や団体客のキャンセルが相次ぎ、入込総数は、前年に比べ6.2%減少。 ・平成24年は、イベントの再開や新しい観光施設等のオープンにより、前年と比較して入込総数は、6.3%増加。 | ・平成23年度に能越自動車道の氷見北IC～灘浦ICが供用開始され、石川県とのアクセス性が向上した。 | ・富岩運河環水公園が平成23年に完成し、拠点の賑わいが増した。 ・県内の幹線道路網の整備が進んだ（富山大橋、藤橋の完成、婦中バイパスの完成等）。 |
| 目標達成・未達成の要因 (問題点の把握) | ・道路整備を進めてきたが、外部要因の影響により整備効果が薄まったため、平成24年時点では、目標を達成することが出来なかったものと考えられる。 | ・道路整備による、石川県とのアクセス性向上により、本県と石川県を往来する観光客の割合が増加していると考えられる。 | ・拠点施設の魅力向上と、県内観光ルートにおける道路整備の相乗効果により、観光集客が増進したと考えられる。 |
| 目標の達成・未達成区分 | A | | |
| 全体計画の総合評価 | ・東日本大震災等の影響もありH24時点での中間目標値を達成することはできなかったが、拠点施設へのアクセスルートの整備を行うことで、周遊効率性や快適性を高め、広域的な観光交流の活性化及び観光客誘致につなげており、震災以後は観光客入込数が増加している。このことから、事後評価時には目標を達成できると考えられる。 | | |

- S：計画推進による効果が確認され、評価値も目標値を上回った
A：計画推進による効果が確認されたが、評価値が目標値には達していない
B：計画推進による効果が確認できなかったが、評価値が目標値を上回った
C：計画推進による効果が確認できず、評価値も目標値には達していない

4) 事後評価の手続き

| | |
|-----------|--|
| 実施体制・実施時期 | ・部内評価にて確定（平成28年12月予定） |
| 結果の公表方法 | ・富山県ホームページにて公表を行う。 URL： http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1510/index.html |

広域的地域活性化計画の事後評価報告シート（3）

5) 今後の活性化方策の検討

①未達成目標の改善方策

| 計画で定めた（中間）目標指標 | 目標の達成状況 | 改善方策 |
|--|---------|---|
| 観光客入込客数 3,846万人（H21）から4,136万人（H24）に増加（7%増） | C | 広域的な周遊ルートの整備を引き続き推進するとともに、官民一体となった観光活性化活動への支援を行い富山県全域の観光入込客数増加を目指す。 |

②今後の広域的地域活性化方策

石川県との広域連携により、新幹線開業効果と相まって、I期計画（石川～富山における広域交流活性化計画）の最終目標値を達成していると考えられるが、今後は昇竜道プロジェクト等の諸計画に位置づけられた縦の交流を活性化させるため、岐阜県との広域連携によるII期計画（飛越交流圏域活性化計画）を実施する。

富山県と岐阜県は、世界遺産である「白川郷・五箇山合掌造り集落」のほか豊富な観光資源を数多く有しており、「富山・岐阜交流の日」協定や「昇竜道プロジェクト」など広域観光の共同推進に力を注いでいるところである。これに加え、北陸新幹線の開業や、東海北陸自動車道の4車線化など高速交通ネットワークの進展によって、飛騨越中エリアは更なる観光客の増加が見込まれる。このことから両県が連携して広域的な周遊観光ルートの道路整備などを推進し、地域振興を図る。

※「富山県観光振興戦略プラン（改訂版）」にも富山県観光の課題として「北陸や岐阜・長野等との連携強化・誘引強化」が謳われている。また、平成26年度富山県観光客動態調査調査報告書（平成27年3月）によれば、県外観光客の内訳として、石川県について岐阜県の割合が高い。このことから、岐阜県との連携をさらに強めるべきと考える。

6) フォローアップ

| 計 画 目 標 | フォローアップが必要な目標指標 | フォローアップ時期 | フォローアップの公表方法 |
|---------|-----------------|-----------|--------------|
| | | | |